

2017 年度 ロシア派遣留学体験レポート

国際学部 2年 21016097 林郁果

初めに

ロシアに4か月留学してみて、思ったこと感じたことはたくさんある。その中でも、私の所感ではあるが、特に次年度以降派遣留学に参加する生徒にとって有益となりそうなことをまとめた。少しでもよりよい留学生活を送る手助けになれば幸いである。

留学前に抱いていた疑問、不安とその答え

一次年度以降参加する生徒へのアドバイスも含めて一

まず一番の不安要素であったお金の面。生活費、教材費、思わぬ出費…様々なことにお金がかかるが、私はたくさんのお金を持っていくことができない状況にあった。国際的に使えるカードを作成する手もあったが、引き落とし時のレートがすぐにわからないことなど、カードなりに不安なことが多いため現金を持っていくことにした。先輩方は25万円もっていけば足りるとおっしゃっていたので、私はとりあえずありったけのお金23万円を持って行った。結論から言えば、私がロシアで過ごした四か月間で使ったのはおよそ16万円であった。しかし、私はほかの生徒に比べるとかなり表に出ずに節約をしたため、より遊びたいのであれば20万円以上持っていくのがベターである。

次に、勉強面の疑問、不安である。例年聞くのは「同じクラスになる韓国人留学生はとても頭がいい」ということだ。では日本人学生は？もちろん個人差はあるが、授業を理解することも苦しいかもしれないという不安に飲み込まれていた。実際に初回の授業を受けてみて韓国人留学生との差を痛感した。学力に関しては本当に個人差があるが、ロシア語を理解できずに苦しんだのは単に私の事前の努力不足が招いた結果であるが、次年度以降派遣留学に参加する生徒には、事前学習の大切さを十分に理解してほしい。国際情報大学のロシア語学習における授業に使用している教科書を終わらせることはもちろんであるが、その一歩先に行く実用的な会話を学び、ポキャブラリーを増やすことが重要である。大学の夏季休暇の間に、アルバイトをしたり、友達と遊んだりすることも非常に大切であるが、留学をより楽しむためにしっかりと学習してほしい。

最後に、生きていくうえで不可欠な食に関してである。日本では実家で生活していたため、まったくと言っていいほど自炊の機会がなかった。しかし、将来は一人暮らしをしたいと考えているため、この留学中になるべく自炊をし、生活力を向上させることも目標とした。しかし、ロシアの食品と私の相性が悪く、ほとんどのものが単純にまずいと感じてしまうようになった。ロシアに到着して数日間自炊するほどの余裕がなく、最寄りのスーパーで出来合いのものを購入して食べたが、どうしてもまずい。そんなときにやはり自炊が役に立つ。ロシアでは、お米、マカロニやパスタなどが格安で手に入るため、節約を重視する方にはこれらを中心とした食生活を送ることをお勧めする。また、野菜に関しても鮮度は日本よりも劣るが、値段は驚くほど安い。(たとえばジャガイモ1キロで30ルーブル以下(およそ60円以下)である。そのた

2017年度 ロシア派遣留学体験レポート

国際学部 2年 21016097 林郁果

め、たいていのロシア人の主食はジャガイモである。ただ、何気なく手にとった商品の賞味期限が切れていたりすることはごく普通にあるので、特に生鮮食品の購入には注意してほしい。また、体調不良が重なって倒れたこともあったので、次年度以降参加する生徒には手っ取り早く栄養を補給できるサプリメント、その他菓などを持って行ってほしい。もちろん、きちんと栄養バランスのとれた食生活を送ることが理想的であるが、課題や自主学習に取り組んでいて十分な時間を確保できなかったり、食欲がない時期などが来るかもしれない。なんにしても、体調管理はしっかりとこなしてほしい。

2017 年度 ロシア派遣留学体験レポート

国際学部 2年 21016097 林郁果

ウラジオストクのおいしいレストラン

Syndicate

ステーキを食べることができるレストラン。お値段は安くはないが、とてもおいしく、店内の雰囲気も大変良い。丁寧な接客をしてくれるので、チップを支払う必要がある。チップの基本的な比率はお会計の10%前後。場合によってはすでにお会計にチップが含まれている場合もあるので、不安な場合は店員に聞くのがベターである。

画像のステーキは約 1300 ルーブル (2600 円ほど)



2017年度 ロシア派遣留学体験レポート

国際学部 2年 21016097 林郁果

Ух ты влин!

ロシアの郷土料理、ブリヌイを食べることができるお店。お値段も高くなく、スイーツ系や食事系など幅広いブリヌイを取り揃えている。

日本語で記載されたメニューも置いてあり、安心していくことができる。ただ店内がすこし狭く、満席で座れないことがあるので、すいている時間を狙うと良い。

画像のブリヌイは（右）コンデンスミルクとチョコレート（左）バーベキュー
この二つで700ルーブル（1400円ほど）



2017年度 ロシア派遣留学体験レポート

国際学部 2年 21016097 林郁果

米中韓ではできない！

帰国目前の12月23日。街を散策ついでに海に出向いてみると、なんと海が凍っていた。私は人生で初めて海の上を歩いた。いつか割れてしまうのではないかという不安もあるが、それよりも一面に広がる青白い氷と波の形跡が美しくとても感動した。いったいどこまでこの氷が続いているのかを確かめたくになったが、おそらくこれはロシアに留学した生徒だけの特権だと思うので、ぜひ12月の下旬には海に行ってみてほしい。氷に穴をあけワカサギ釣りをしているロシア人男性に話しかけてみるのもいいかもしれない。

画像は凍った海



2017年度 ロシア派遣留学体験レポート

国際学部 2年 21016097 林郁果

私にとっての留学

多くの人と会話を楽しみたいから。これは、私が外国語を率先して学んでいる理由である。日本語も英語も使わずに、ロシア語で会話し生活することは私の人生に強烈な刺激をあたえてくれた。当たり前であるが、日本にいるときよりもより多くのロシア人と会話し、笑い合うことができたということは、今後の私の人生に大きな自信をもたらすと共に、より一層語学に対する意識を高めてくれる糧となった。

留学することが最終目標ではない。留学は重要であるが、人生においては自分を高めるための通過点でしかない。勉強するためではなく遊ぶために留学に行く。そう公言している人もたくさんいるし、それでもいいと私は思う。むしろ、私は切羽詰まって勉強していたタイプなのでそんな余裕と幸せに満ちた人がうらやましかったりもした。様々な心労が重なって思わず泣いてしまうほどつらいときもあつたが、それでも留学してもよかったと思えるほど、人との交流のすばらしさや、努力の大切さを感じることができた。

悲しくも大学生のうちはずべてに成績がつけられてしまう。社会人になってもそうかもしれない。成績をつけられてしまうとしても、留学は確実に非日常を送ることができる本当に貴重な期間である。ぜひ自分なりの目標と、たっぷりのやる気をもって留学に臨んでほしい。そして、遠慮せずに先生方を頼ってほしい。